

＜講習内容＞

①. 高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会

1. 院内感染の基本（ICT も含む）

滅菌・消毒（内視鏡も含む）、環境ラウンドのポイント、血液媒介感染と職業感染対策、デバイス関連感染症対策、手術部位感染予防対策（抗菌薬以外）、多職種による多面的感染対策のあり方

2. 院内感染の経路とその対策

標準予防策と個人防護具(PPE)、経路別予防策（空気予防策、飛沫予防策、接触予防策）、接触者対応（インフルエンザでの予防内服の適応など）、Clostridium difficile 対策

3. 院内感染関連微生物とその検査法（国内外の最新の状況についても）

耐性菌（extended spectrum β -lactamase (ESBL)産生菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)、Clostridium difficile、MRSA、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)、多剤耐性緑膿菌 (MDRP)、多剤耐性アシネトバクター）。その他関連微生物（細菌、真菌、ウイルス）の概要、検体採取上の注意、微生物検査の実際（染色・培養・迅速検査・MALDI TOF-MS・その他の遺伝子検査）。

4. 抗菌薬の適正使用（TDM も含む）

抗菌薬使用調査（DOT など）とその評価、antimicrobial stewardship program、TDM（グリコペプチド系薬、アミノグリコシド系薬などにおける目標血中濃度とそれに基づく投与設計）、侵襲時における薬物動態と抗菌薬使用法、術後感染予防抗菌薬

5. アウトブレイクとその対応

アウトブレイクの定義と早期把握のための監視システム、アウトブレイク時の対策（監視培養、遺伝子検査、環境調査など）、外部評価・支援、メディア対応、アウトブレイク事例の紹介

6. 院内感染対策における大規模医療機関の役割（災害時の感染対策も含む）

大規模施設における感染対策システムの構築、地域ネットワーク（情報伝達、チェックリストの作成、共同サーベイランス、コンサルテーション・アウトブレイク時など感染対策の支援）、感染防止対策加算2の施設との合同カンファレンス、災害時の感染対策

7. 感染症サーベイランス

デバイス関連感染症（中心静脈関連血流感染、尿留置カテーテル関連尿路感染、人工呼吸器関連感染）、手術部位感染症（SSI）、多剤耐性菌サーベイランスの実際とその情報活用

8. 院内感染における行政との連携

薬剤耐性菌対策アクションプランとワンヘルス・アプローチ、新興感染症への対応（蚊媒介感染症対策を含め）

9. 院内感染関連法令

医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等

10. 総合討論

講習時間：500分

②. 院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

1. 院内感染の基本（ICTも含む）

滅菌・消毒（内視鏡も含む）、環境ラウンドのポイント、血液媒介感染と職業感染対策、デバイス関連感染症対策、手術部位感染予防対策（抗菌薬以外）、多職種による多面的感染対策のあり方

2. 院内感染の経路とその対策

標準予防策とPPE、経路別予防策（空気予防策、飛沫予防策、接触予防策）、接触者対応（インフルエンザでの予防内服の適応など）、Clostridium difficile 対策

3. 院内感染関連微生物とその検査法（国内外の最新の状況についても）

耐性菌（extended spectrum β -lactamase (ESBL)産生菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)、Clostridium difficile、MRSA、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)、多剤耐性緑膿菌 (MDRP)、多剤耐性アシネトバクター)。その他関連微生物（細菌、真菌、ウイルス）の概要、検体採取上の注意、微生物検査の実際（染色・培養・迅速検査・MALDI TOF-MS・その他の遺伝子検査）。

4. 抗菌薬の適正使用（TDMも含む）

抗菌薬使用調査（DOTなど）とその評価、antimicrobial stewardship program、TDM

(グリコペプチド系薬、アミノグリコシド系薬などにおける目標血中濃度とそれに基づく投与設計)、術後感染予防抗菌薬、侵襲時における薬物動態と抗菌薬使用法

5. アウトブレイクとその対応

アウトブレイクの定義と早期把握のための監視システム、アウトブレイク時の対策（監視培養、遺伝子検査、環境調査など）、外部評価・支援、メディア対応、アウトブレイク事例の紹介

6. 院内感染対策の地域連携（災害時の感染対策も含む）

チーム医療と各職種の役割、地域ネットワークの構築、感染防止対策加算Ⅰ、Ⅱ取得施設の合同カンファレンスのありかた、災害時の感染対策

7. 院内感染における行政との連携

薬剤耐性菌対策アクションプランとワンヘルス・アプローチ、新興感染症への対応（蚊媒介感染症対策を含め）

8. 院内感染関連法令

医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等

9. 総合討論

講習時間：500分

③. ②の受講対象となる医療機関と連携し、各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会

1. 院内感染の基本（ICTも含む）

滅菌・消毒の基本と臨床での活用（内視鏡消毒対策も含む）、環境ラウンドのポイント、デバイス関連感染症対策、手術部位感染予防対策（抗菌薬以外）、多職種による多面的感染対策のあり方、血液媒介感染と職業感染

2. 院内感染の経路とその対策

標準予防策とPPE、経路別予防策（空気予防策、飛沫予防策、接触予防策）、接触者対応（結核、流行性角結膜炎、インフルエンザ）、Clostridium difficile 対策

3. 院内感染関連微生物とその検査法

耐性菌（extended spectrum β -lactamase (ESBL)産生菌、カルバペネム耐性腸内細菌

科細菌(CRE)、Clostridium difficile、MRSA、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)、多剤耐性緑膿菌 (MDRP)、多剤耐性アシネトバクター)。その他関連微生物(細菌、真菌、ウイルス)の概要、検体採取上の注意、微生物検査の実際(染色・培養・抗原検査・遺伝子検査)。

4. 抗菌薬の適正使用 (TDM も含む)

抗菌薬使用調査とその評価法、antimicrobial stewardship、抗菌薬許可制・届け出制のあり方、アンチバイオグラムの作成、治療抗菌薬の選択、TDM: グリコペプチド系薬、アミノグリコシド系薬などにおける目標血中濃度とそれに基づく投与設計、術後感染予防
抗菌薬

5. アウトブレイクとその対応

アウトブレイクの定義と早期把握のための監視システム、アウトブレイク時の対策(監視培養、遺伝子検査、環境調査など)、外部評価、メディア対応、アウトブレイク事例の紹介

6. 療養病床・慢性期医療における感染制御

療養病床・慢性期医療における感染症の特徴、高齢者感染症、MRSA など耐性菌保菌者対策、インフルエンザ、ノロウイルス流行時の対応

7. 院内感染における行政との連携

薬剤耐性菌対策アクションプランとワンヘルス・アプローチ、新興感染症への対応(蚊媒介感染症対策を含め)

8. 院内感染関連法令

医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等

9. 総合討論

講習時間：500分